

あなたと市議会

No. 54

平成 30 年
4 月 15 日号



子育てサークルと議会の懇談会を開催 !!

いただいたご意見は 16 ページをご覧ください。

CONTENTS

- 3 月定例議会の概要…………… 2・3
- 会派代表質問、一般質問…………… 4～11
- 常任委員会・分科会審査報告…………… 12～14
- 1 月臨時議会の概要……………15

募集しています!!

語ろう!
「市民と議会の懇談会」



くわしくは、
市議会ホームページ
「市民と議会の懇談会」
をご覧ください!!



問い合わせ先 横手市議会事務局
TEL 0182-32-2535

市長提案の全議案を可決

民間譲渡する公共温泉関連の補助金、十文字多目的総合施設に関する修正案が提出されるも否決

3月定例議会の概要

3月定例議会のあらまし

3月定例議会は、2月26日から3月22日までの日程で開催されました。

初日は、はじめに、故阿部正夫議員への追悼演説が行われ、次に、市長から施政方針、教育長から教育行政方針の説明がありました。その後、人事案件33件を審議したほか、専決処分承認1件、平成29年度一般会計補正予算案や条例案等37件の議案が提案されました。翌27日には、平成30年度一般会計予算案等14件の議案が提案され、さらに、3月9日には、平成29年度一般会計補正予算案が追加提案されました。これらの議案は、陳情と共に3つの常任委員会と一般会計予算特別委員会に付託し、審査が行われました。最終日の本会議では、各委員長から委員会審査

結果の報告を受けた後採決が行われ、議案は全て原案のとおり可決、陳情2件を採択しました。

平成の大合併から12年、市の発展に貢献してきた

「地域づくり協議会」が廃止

特色ある地域活性化にご尽力いただいた「地域づくり協議会」が30年3月末で廃止されることに伴い、これまで地域の企画立案により実施されてきた「元気のでる地域づくり事業」については、市と地域の事業主体ごとに仕分けが行われました。今後は、地域が実施するものについては、新設される「地域づくり活動補助金」と「町内会補助金」に予算措置されます。また、「集落施設整備費補助金」によって、町内会館の新築や建物補修等に対する補助が手厚くなります。

※3月定例議会の録画映像は、横浜市ホームページの議会のページでご覧いただけます。
「市議会トップページ」の「市議会動画チャンネル」



スポーツ立市よこの具現化

横手体育館・武道館を指定管理へ

指定管理するメリットなど当局の説明があまりまいであったことから、3度目の提案で条例案が可決されるという紆余折がありました。

法律改正後初、新制度による

横浜市農業委員会委員を任命

伊藤眞輝子（大森）、柴田薫（十文字）、高見祥一（横手）、石山寛（同）、内藤新左衛門（増田）、石川牙子（同）、菅原恵美子（大雄）、以上再任。

◆法律改正後初、新制度による
横浜市農業委員会委員を任命
佐藤勇（平鹿）、近江谷久雄（横手）、高瀬俊作（同）、近江清廣（雄物川）、伊藤亨（十文字）、齊藤龍平（同）、佐々木善一（雄物川）、吉田和儀（同）、高橋尚也（横手）、佐々木秀一（大雄）、佐藤省美（横手）、平良木保（増田）、千葉肇（増田）、菅原一太郎（平鹿）、丹波賢太郎（大森）、小野寺稲子（山内）、佐藤真志子（十文字）、遠藤夕三子（大森）、小笠原夏子（雄物川）、佐藤仁（大森）、木村由美子（雄物川）、佐々木由紀子（横手）、飯野正和（平鹿）、高橋良一（十文字）

人事（敬称略）

◆任期満了による

人権擁護委員候補者の推薦を決定

鈴木淳悦（十文字）、高橋千津子（山内）、以上新任。

一般会計予算特別委員会審査

最終日の一般会計予算特別委員会に2つの修正案が提出されました。

◆法律に抵触する恐れがある

公金の支出は認められない

補正予算（第13号）中、温泉関連の補助金、負担金を削除する修正案

一般会計予算特別委員会では、市が約74%出資する第三セクターの株式会社増田町物産流通センター清算に係る補助金3000万円、3温泉施設の故障した空調設備を現状復旧するための負担金1億1100万円を全額削除する修正案が9名の委員より提出されました。

◆エリアの全体像が示されていない

十文字多目的施設の計画に疑問

30年度一般会計予算中、十文字庁舎建設設計費を組み替える修正案

同じく一般会計予算特別委員会では、十文字地域多目的総合施設整備事業6121万9000円を予備費に組み替える修正案が4名の委員より提出されました。

主な提案理由は、「築60年を迎える十文字庁舎の建設に反対するものではないが、この度提案された内容は、老朽化の著しい幸福会館と文化センターが持つ健診機能・生涯学習機能を複合化させたものである。十文字エリア一体のまちづくり方針と横手市全体として公共施設をどう配置するか、ランドデザインが定まってこそ初めて複合化の議論が出てくるものであって、合意形成が図られていない現段階の複合化案には疑問を感じる」という内容でした。

討論はなく、採決の結果、賛成11、反対12（欠員1、議長・委員長除く）で修正案は否決となり、原案が可決されました。

（奥山 豊和）

賛否が分かれた議案と審議結果

・この他の議案は全員賛成により可決されました。
○：賛成 ●：反対 ※齋藤光司議長は採決に加わりません。

案件名	議決結果	表決数		日本共産党	新風の会				さきかけ				市民の会				公明党	新国会		みらい	新緑会							
		賛成	反対	鈴木勝雄	立身万子	青山豊	加藤勝義	奥山豊和	佐藤誠洋	高橋聖悟	木村清貴	寿松木孝	播磨博一	塩田勉	佐々木喜一	山形健二	大日向香輝	菅原龍代嗣	菅原正志	齋藤光司	菅原恵悦	土田百治子	遠藤忠裕	小野正伸	佐藤清春	佐藤忠久	高橋和樹	本間利博
横手市山内地場産品直売施設「山菜恵ちゃん」の指定管理者の指定について	原案可決	13	11	○	○	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成29年度横手市一般会計補正予算（第13号）	原案可決	15	9	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度横手市一般会計予算	原案可決	13	11	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度横手市市営温泉施設特別会計予算	原案可決	23	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求めることについての陳情	採択	23	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
核兵器禁止条約に署名・批准を求める自治体意見書採択についての陳情	不採択	10	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆ 陳情の審査結果 ◆

陳情3件が審査され、次のような結果になりました。（敬称略）

採 択

- 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求めることについて（秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一 他1名）
- 流雪溝の雪詰り解消対策について（沼田町町内会 年番長 石川光一）

不 採 択

- 核兵器禁止条約に署名・批准を求める自治体意見書採択について（平和・民主・革新の日本をめざす横手市の会 [横手市革新懇] 代表世話人 小野則夫）

市民の声を市政に！

会派代表質問、一般質問で市政を問う

会派代表質問 P 4～P 5

新年度施政方針、教育行政方針に対し、会派の代表者が質問を行うものです。

一般質問 P 6～P 11

市の事業や施策に対し、議員が市に考えや意見を求めるものです。



会派代表質問より（右から）
市民の会 菅原恵悦議員
新風の会 木村清貴議員
さきがけ 塩田 勉議員

※QRコードを読み取ると録画中継をご覧いただけます。



横手市議会マスコットキャラクター
しらとり議員



横手北小、横手北中学校の通学路の安全確保を

市民の会 菅原恵悦議員

問 横手北小・中学校への横断歩道は1年を通して危険だ。道路交通法の順守等、通学路の安全確保に繋がる運動を保護者と一緒に展開してはどうか。

答 安心して本事業に取り組めるよう、必要に応じて関係機関への働きかけや情報提供を行う。

問 平成32年度から小学校で実施される新学習指導要領をどのように評価しているか。

問 平成30年度は積極型予算としている一方、地方交付税は減小している。市政運営に携わるトップとしての「働き方改革」を見据えた考えを伺う。

答 平成21年度から、子どもたちの主体性を生かし、思考力・判断力・表現力等を育成する授業に全市一体で取り組んできた。新学習指導要領の目指す方向性は、本市のこれまで積み重ねてきた取り組みと軌を一にするものと考えている。

答 この2月から「市の業務の見える化」を推進し、個人の業務量を的確に把握することで、全庁的な働き方改革に繋げる。

問 平成26年度より果樹産地強靱化対策事業で防除剤を加圧注入した支柱の購入助成を行っているが、5年経過した支柱の折損が発生し、



車の往来が多い通学路

(株)増田町物産流通センターについて

新風の会 木村清貴議員



問 会社を清算するにあたり、補助金3000万円の予算計上を決定するに至った経緯を伺う。

答 取締役会の承認規定で事前報告の規定がない。

問 市が筆頭株主であること、負債の要因となる公共温泉事業を主導してきた立場であることなど、一連の責任を重く受け止め、一般債権者に迷惑をかけないかたちで債務整理を行うことが市の責務であるかと判断した。

問 2回に分けて支払われ、市は1回目の直後に聞いたとあるが、2回目は市も認めたというところが、10月の2回目の支払いの前に取締役会を開いて、認めた。

問 1月臨時議会の委員会議事録の中で理解できないところがある。平成29年3月31日で、社員全員が退職しているのか。

問 1400万円近い現金が流出した中で市民の血税3000万円の投入は、市民感情として理解できると考えるか。

答 退職していない。

問 会社は平成29年4月に退職金規定を廃止している。その中で退職していないのに退職金を支払っているのは理解できない。市当局が許可したのか。

答 市は許可していない。

問 取締役会に諮っての会社単独の判断か。

合併特例債の有効な活用を望む

さきがけ 塩田 勉議員



問 人口減少と地方債残高と1人当たりの残高について伺う。

問 今後の社会資本と、将来の横手市の目指す方向性について伺う。

答 大型事業により地方債残高が増えたものの、合併特例債発行期限到来後は少しずつ減少していく見込みであること、反面、人口減少の影響によって市民1人当たりの地方債残高は必ずしも減少傾向には転じないと見込んでいる。

答 後生の世代に対しての「機会逸失」とならぬよう、必要と考えるものを見極め、例えば、「市民体育館の代替えとなる多目的複合施設」や「横手駅東口の公共施設」などの重要施設について、合併特例債の使用の有無や新たな補助金を探りながら、早い段階から議員の皆さんとも協議し、平成30年度中盤には市の方針を見出したい。



再開発の要望もある横手駅東口



4月から民間譲渡となる「上畑温泉さわらび」

Q 地域の未来を描く横手市のグランドデザインをいつまでに示すのか

A 平成30年の秋頃をめどに考えている



奥山豊和議員



問 市長は、市政運営の軸をどこに据えて選択と集中を行い「にぎわいの創出」を図っていくのか。

答 地域の均衡ある発展と住み続けたいと思うまちづくりを軸に、その指針が第2次総合計画である。これから、横手駅東口開発促進の可否や横手体育館や市民会館の在り方など、将来像を具体的に示していく。

問 東口再開発の前提として、住民の暮らしに関わりがあり将来のまちの姿について総合的検討を行う必要がある「立地適正化計画」の策定に動き出すようだ。これまで一切の協議がなく全体像も描けていないのに、なぜ着手できるのか。横手市のコンパクト&ネットワーク、庁舎を含め地域の拠点の在り方に直結する課題をどのように進めるのか。

答 地域の拠点は特色があつて、それぞれが発展していくことが総合計画のおもとなつてきている。中心的な旧横手がしっかりとしていることが、それぞれの地域の発展につながると思う。問 今後もまちづくり推進部の指揮の下、8地域局2課体制を堅持し、職員数は減らさないことを決定した上で十文字・雄物川庁舎を新しく建て替えるのか。



東口再開発は市全体に影響を及ぼす早急にグランドデザインを示すべき

答 30年度に組織の見直しをする中で、全体の地域局の在り方は検討しなければならぬ。職員数は減っていくが、今回は、現在仕事をしながら最低限必要な事務スペースを提案している。

Q もっと丁寧な議案の提案を!!

A もう一步早く、もう一步踏み込んで協議する



遠藤忠裕議員



問 行政運営は、継続性が重要だと思う。その上で、行政計画、財政計画は、行政運営の基本となるものと思うが、どのように考えているのか伺う。

答 市では市政運営の最上位計画である第2次総合計画を策定している。目指す将来の姿を明確にし、目標を設定し、その指標を示し、横手市をつくる計画だ。それを財政的側面から将来の施策実施の見通しを示すのが財政計画である。

問 最近の議案提出の在り方が乱暴な出し方になっている。行政計画に載っていない事業がある日突然に提出されたり、議会直前に説明があり提出されている。

答 平成30年4月から市内34か所で実施する放課後児童健全育成事業(学童保育)の現状と課題について問 広さの状況はどうか。



3月末までお寺を借りて実施していた学童保育「わんぱく」

問 障がいのある児童への対応は万全か。

答 支援員の増員や、研修を受けスキル向上を図る。

問 各学校とその学区内の学童保育との連携は円滑か。

答 おおむね良好で、支援員と情報交換会を設定する学校もある。また、下校時に学校側が学童保育に向かう児童に声掛けなどをしていく例もある。

問 支援員の実情と、今後の方針はどうか。

答 国の基準どおり、1施設2人以上を配置している。今現在、32施設で118人いるが充足はしていない。

平成30年度は時給を上げるなど処遇改善を図り、支援員の確保に努力する。

問 市が取り組んできた経過と現状はどうか。

答 平成21年から26年までは家庭用太陽光発電設備の補助を、その後は地中熱設備の導入に対する補助を実施した。山内と平鹿庁舎建設に際し、地中熱を利用した空調設備を導入している。問伐材やモミ殻のバイオマスは販売先確保や生産コスト等からハードルが高く、事業化はしていない。

Q 消防団員の処遇改善を求める

A 組織改革にあわせ検討していく



寿松木 孝議員



問 消防団の組織再編が進められ、地域ごとの体制も一本化に向けた協議がなされている。その詳細と団ごとに違う装備の整備方針について伺う。

答 消防団理事会で統合の方向性が了承され、この後、統合時期について協議する。組織は現在の消防団に大きな変化が及ばないよう「支団制」を導入したいと考えている。今後各団の統廃合も勘案し、効率的に装備の配置を目指したい。

問 団によっては火災の際の小型ポンプを積載する軽トラックの確保にも苦労している。全ての団に軽積載車の整備は予算的に難しい中、工夫を凝らした現実的な整備を進めるべきでは。

答 現状は認識している。全てに積載車が配備はできない状況だが、改善に向けて研究していく。

問 当市の消防団は県内で



地域を守る消防団員の確保は重要な課題

最大の団員数だったこともあり、合併時より団員の報酬は据え置かれたままで、中でも団員と班長の報酬は近隣自治体と比べても大変低い。組織再編も計画されていることから、早急に改善を図るべきではないか。

Q 「ひるまのきょうだい」として成長できる学童保育を!

A 第一に、支援員の処遇改善を図っていく



立身 万千子議員



平成30年4月から市内34か所で実施する放課後児童健全育成事業(学童保育)の現状と課題について問 広さの状況はどうか。



横手市総合計画策定委員会のワークショップの様子

もっと協議を重ね、議論をすべきだと思うが。

答 既存事業を見直すとともに、新規事業を立ち上げる必要も生じる。議会への説明、協議をしながら計画変更と事業実施をしている。これまでも出来る限り協議してきたつもりだ。今一つ足りない、少ないとの意見は非常に残念だ。今後は、もう一步早く、もう一步踏み込んで協議していきたい。

■その他の質問

県との機能合体効果は人口減少対策について再任用制度の検証

議員から出された意見・要望に対する処理経過の「見える化」は

先進自治体を参考にして検討したい



高橋和樹議員



●市長の政治姿勢について
○市議会の会派代表質問
や一般質問で、議員から発言された地域課題や施策提案に対しての市の対応処理について伺う。

○定例会終了の都度、一覧データとして集約し、提案内容を所管する課室所において、検討の方向性等について協議している。

その後、市の政策会議で検討事項や方向性に関しての情報共有を図り、意見集約するほか、質問のあった定例会の翌年度末をめどに最終的な対応方針や結果についてまとめ、政策会議で確認することとしている。

○議員活動の一つである、議員から行政に対しての要望や提言について、他の自治体でも導入している「対応記録制度」を導入するつもりはないか。

○議員が直接照会するなどの場合は、それぞれの



会派代表質問や一般質問を行う議場の質問席

部課所に対応を委ねている。しかし、内容が市の目指すべき方向性に密接に関係する場合や、実現に多くの費用がかかる場合など政策的判断を要する事案は政策会議において決定している。「対応の一元化」については、そのメリット・デメリット等について先進自治体の取り組みを参考に検討したい。

その他の質問

○横手市の情報公開の在り方について

○市のホームページにある「市長への手紙」への対応と管理方法について

教員の多忙化の現状と解消の取り組みは

実態把握に取り組み、改善を図っている



菅原亀代嗣議員



○教員の多忙化の現状とその解消の取り組みについて伺う。

○本市の教員は、日々、児童生徒と向き合う時間を大切にしているため、勤務時間を超過することも少ない現状である。

○以前より、地域との連携、システムの導入、部活動休止日などに取り組んでいる。さらに、勤務時間の実態把握に取り組み、長期休業中の学校閉庁日の設定など具体的に取り組みを進める。

○人事について
○新年度に管理職の大幅な入れ替えとなるが、今回の人事異動の方針について伺う。

○一般職については、比較的小規模な異動を予定している。専門性の高い職務については長期間配置を行う。職員の資格や適性



横手市ホームページより

○3年で異動するジョブローテーションを実施する。

○新規採用職員の募集方法と職務経歴職員の採用方針・計画について伺う。

○技術系職員については、応募年齢を引き上げた他、東京での試験や正月休み期間での試験を実施した。今後は、学生向け就職説明会でのブース設置や通年募集・採用の検討も必要であり、優秀な人材確保のため全力を挙げる。

その他の関連質問

○市職員の残業時間や再任用等の状況について
○通訳もしくは語学堪能な職員の採用について

農福連携で農業分野で能力を発揮できる体制を

農業と福祉の双方に通じたコーディネーターの配置が重要



土田百合子議員



○当市の農福連携の今後の方針は。

○農福連携の推進には、農作業のお手伝いなどの「はじめの一步」が取り組むきっかけとなる。農業体験活動などを通じて相互の理解促進に努める。

○32年開館の公文書館の整備計画は。

○職員で構成するプロジェクトを設置し、施設の開設に向けた整備計画の策定を行っており、管理運営体制や関係例規の整備などについて検討を進めている。有識者にどのように関わっていただくかは、プロジェクトの中で検討する。

○オストメイト対応トイレの設置を推進すべきであると思うがどうか。

○引き続き、公共施設の新築や改修等の際には、不特定多数の皆様の利用が想定される施設など、法律の対象にならない施設において



就労移行支援施設で行われている水耕栽培

ても必要に応じ設置を進めていく。オストメイトマーク付き案内表示の有無については、調査し、直ちに設置する。新たにオストメイト対応トイレを設置した際には、表示を徹底する。

市立病院透析患者送迎サービスの考えについて

○今後、少子高齢化が進み、通院が困難になる患者さんが増加することが想定されることから、市の全体的な公共交通対策等の中で検討していく。

その他の質問

○障がい者タクシー券の交付枚数の拡大について

「オリパラ首長連合」参加の可能性は?

埋没するので参加しない



青山豊議員



○インドネシア共和国パドミントンチームの事前合宿誘致が叶わなかったことに対する総括を伺う。

○熊本県の提示した条件の方が当市よりも有利だったと考えられる。その条件の情報収集ができなかった。また、誘致活動における全体的な取り組みの機運が不足していた。

○全体計画をつくらなかったから機運が不足していた。だから、このような結果になったのではないか。
○そういった部分もあるのかなと思う。

○インドネシア共和国との経済交流の取り組みについて伺う。

○インドネシア共和国大手企業との青少年パドミントン交流を通じて築かれる絆を生かし、経済的な交流の可能性を探っていきたい。具体的な手法などは平成30年度の早期に調整したい。



「オリパラ首長連合」主催の「旅する新虎マーケット」公式サイト https://tabisuru-market.jp

○東京オリンピック・パラリンピックという各地方の魅力を世界中の方に知っていただくまたとない機会を捉えて、意欲ある地域が手を携えて情報発信するという目的でつくられた、通称「オリパラ首長連合」参加の可能性について伺う。

○先行自治体に埋没すること、インドネシア共和国との経済交流の可能性を探ることに注力するので参加しない。

その他の質問

○防災対策について
○地域防災力の向上
○災害対策機能の整備

*オストメイト…病気や事故などにより、消化管や尿管が損なわれたため、腹部などに排泄のための開口部(ストーマ:人工肛門・人工膀胱)を造設した方のこと。

Q 横手出身者のUターン促進を！

A Uターン者を最も重要なターゲットとして事業を進める

山形 健二 議員



問 県外出身者を移住定住に繋げるのは難しい。横手出身者のUターン促進に力を入れるべきだと考えるが、市長の考えを伺う。

答 横手で生まれ育った子どもたち、横手を経験したことのある人たちは、環境に対してのハードルが最初から低く、親類や知り合いが存在することから幸甚な移住を実現しやすい重要なターゲットだと考える。

問 Uターン者を最も重要なターゲットとして、今後も事業を推進していく。

答 就農支援事業では転入した新規就農者に対する家賃補助を実施するようだが、移住定住促進事業にも家賃補助制度を導入してはどうか。

問 移り住んできた方に対して一律に公費で家賃補助を行うことは難しい。

答 一定の線引きの元に行うことは有効な手段であり、

他の施策や事業目的の達成、課題解決とあわせる形で研究を進める。

問 企業誘致による新たな雇用の創出は移住定住促進に有効と考えるが、それによる人口増の成果はあったのか伺う。

答 ここ2年の企業誘致で13人転入している。

問 その他の質問
移住定住促進事業のこれまでの成果と今後の成果目標について

「ふるさとワーキングホリデー」の導入の考えについて



総務省の「ふるさとワーキングホリデー」ポータルサイト

Q 産地交付金に市独自のかさ上げ策を

A 可否について検討していく

鈴木 勝雄 議員



問 JAとの園芸連携協定により、相互に事業に協力し合い、園芸産地を目指すことは非常に大事な取り組みだと思ふ。安心安全な農産物の生産を進めるにあたり、JAが設置運営する農産物等総合分析センターは公益性が高いことから、行政も関わり積極的な支援をすべきと思うがどうか。

答 園芸作物振興の基礎となる部分であり、重要と捉える。市では今後連携協定を基に推進会議を設置し、各種課題の協議を進める。

問 大規模な複合産地化を目指す方向だろうが、JAの園芸作物出荷量の9割は家族経営農家となっている。このことから、産地交付金に市独自のかさ上げが必要不可欠と思うがどうか。

答 農業者の皆様の所得向上が図られるよう努め、補助金のかさ上げの可否について検討していく。



農業所得向上のためには手厚い支援が必要

問 よくて農業創生大学事業の経営計画と目標は。

答 農業所得の向上と担い手の確保・育成を目的に取り組んでいる。

問 温泉施設のこれまでの経過と無償譲渡の契約については理解できるが、なぜ高額の修理費が必要なのか。

答 市民の皆様と議会には、譲渡は今年4月1日時点での現状引き渡しになることを説明していた。3月31日まで市の運営という点などについて熟慮を重ね、市が負担すべきという判断をしたところだ。

Q 十文字庁舎建設に市民からの理解は得られたのか

A 複合施設が最良と考えられるので理解いただきたい

菅原 正志 議員



問 地域局建設について

問 十文字庁舎建設について、市民からの理解は十分に得られているのか。

答 さまざまなプランを検討したが、現状では、複合施設が最良と考えている。

問 スポーツ振興について
役割とは何か。

答 事業計画の策定や適正な施設管理を行うとともに関係機関と連携して事業を推進している。加えて、実施主体が主体的に運営できるように、調整役として事業にあたることだと考える。

問 プレステージ・インターナショナル女子バスケットボール部をホームチームとして誘致してはどうか。

答 魅力はあるが、企業側の意向もあるだろう。環境整備等も含め、その可能性を探ってみたい。

問 新たな地域づくりの在り方について

問 合併前から4地域で使われている「防災行政無線」の今後の在り方と方向性を伺う。

答 現在、雄物川、大森、山内、大雄地域で利用されているが、いずれもアナログ方式であり、その使用期限は平成34年11月30日までである。それ以降はデジタル設備に移行しなければならず、設置経費などの問題から極めて難しい。運用可能なうちは既存設備も使用し防災ラジオ等を利用して、情報発信していく。

問 防災無線を使用中止する前に、住民に事前説明が必要ではないか。

答 行政無線から代替となる防災ラジオ等への移管の際は、住民説明会等で段階的に準備をしていく必要がある。

問 高齢者など携帯電話を持たない情報弱者も含め、市民平等に一齐に情報を得

答 行政無線から代替となる防災ラジオ等への移管の際は、住民説明会等で段階的に準備をしていく必要がある。

問 高年齢者など携帯電話を持たない情報弱者も含め、市民平等に一齐に情報を得

答 仮に延長になった際は、特別債充当可能となるように、建設計画へ事業追加が必要になる。410億円の上限額を上回る場合も想定される。

問 防災ラジオ以外に携帯電話など複数の伝達方法で情報伝達しているの、全世帯貸与は考えていない。

問 合併特別債が、再延長される可能性が高いが、再度建設計画を変更し、発行予定額410億円内の事業追加を考えているか。

答 仮に延長になった際は、特別債充当可能となるように、建設計画へ事業追加が必要になる。410億円の上限額を上回る場合も想定される。



山内地域防災無線放送室



築60年の十文字庁舎

問 元気の出る地域づくり事業と予算の検証方法は。

答 事業ごとに目的や実施内容、効果を検証し、分類した。

問 他の補助金とのバランスをどう考えるか。

答 他の事業と補助率に差があることについて認識し、検討を重ね、5年間の経過措置を講ずることとした。

問 再任用職員活用について
デスクワークにとどまらない活用の具体策は。

答 行政と市民、人と人を結びコーディネートとして、経験を生かせる場を検討している。

ソフト部分に光をあてた予算編成を！

全議案を全会一致で可決



厚生常任委員会

高橋和樹 青山豊 山形健二 寿松木孝
立身万千子 木村清貴 小野正伸 佐藤清春



横手市議会ホームページ厚生常任委員会
のページをご覧ください

◆平成29年度一般会計補正予算
【災害見舞金支給事業において、床上浸水と床下浸水の区分けについての考えは。】

【答】 現実問題として、浸水の程度に関係なく一律に見舞金を支給することは財政的に困難であり、建物一軒一軒の特性に応じた支給も容易ではない。どの程度の範囲で被害を受けた場合に災害と認め、支給対象とするかなど、内々には協議しているが、結論は出ていない。

◆平成30年度一般会計予算

【問】 マイナンバーカード、証明書等コンビニ交付サービスの交付状況と今後の方向性は。

【答】 2月末現在でマイナンバーカードの交付は7050枚で全体の7.7%、コンビニ交付は177枚である。目標は、平成31年度末までにマイナンバーカードは1万枚、コンビニ交付は5000枚交付したい。交付枚数が増えるほど費用対効果上がるので、これまでの反省点を踏まえ、さらに工夫を加えながら取り組みたい。

【問】 現在の「避難行動要支援者名簿」の整備率の評価と、今後の取り組みの方針は。

【答】 対象者7929人中、公開に同意している方が2963人で、率として37.4%と高くない。理由としては、高齢者であっても健康な方などは、「自分はまだ支援を受ける立場にない」との意向があるようだ。今後も、必要性を理解していただくための取り組みが重要であり、さまざまな機会を捉えて訴えていく。

◆横手市後期高齢者医療に関する条例の一部改正

【問】 制度改正される理由について。

【答】 本来であれば住所地の自治体や後期高齢者医療広域連合が保険者となるが、施設入所や入院のために住所を異動した場合、施設や病院のある自治体及び後期高齢者医療広域連合の負担が大きくなる。このような負担の不均衡を是正するため、異動前住所地の保険者において資格適用することになったものである。

◆平成30年度介護保険特別会計

【問】 横手市の「介護用品支給券」の

◆平成29年度一般会計補正予算

【問】 雄川荘、えがおの丘、さわらびの空調等の不具合に対し、工事費を負担金として渡さなければならぬ理由は何か。

【答】 本来、3月31日までは市の責任で運営をしなければならぬが、同日までに修繕工事を完了できないため、市が精査した工事費を負担金として譲渡業者に渡す方法を選択した。

【問】 増田町物産流通センターの経営が債務超過と気付いて、経営改善をどのように指導したのか。

【答】 資産計上するものについてしっかりと償却するように話をしてきたが、抜本的経営改善には至らなかったというのが最終的な結果である。

◆平成30年度一般会計予算

【問】 ドローンを活用した農薬散布の現状について伺う。

【答】 使える薬剤が定められている中で、スイカについては薬剤の認可が取れていない。これから農薬メーカーなどで開発するものと思う。その情報は農家の皆さんに周知していく。

【問】 立地適正化計画を策定することはどの時点で決めたのか。

支給要件は、近隣自治体と比較して厳しいのではないかと。

【答】 基本的に介護が大変な方に対する給付と考えている。特別養護老人ホームの入所要件が要介護度3であることから、そこを基準としている。

【問】 在宅介護に対する予算の考えは。

【答】 高齢者の数は数年後には減少する可能性があり、新たな施設を増やすという議論はない。国の制度自体が在宅介護へシフトしている状況にあり、そこにどうスポットを当てていくかが重要である。福祉の予算はどこを増やすか、どこが減らせるかという議論を詰めていく必要がある。

(高橋 和樹)



3日間にわたり20議案を審議

する条例

【問】 入居の手続きが変わることはあるか。また、指定管理となることをどのように周知するのか。

【答】 手続き上は窓口が変わるようになるが、今までと同様の扱いで指定管理者に行っていた。入居者へは説明会を開催して理解を得たい。

◆流雪溝の雪詰り解消対策についての陳情

現地を視察し、関係者から説明を受けた後の審査では、工法等については調査・検討を要するが願意は妥当との意見があり、採決の結果、起立全員により採択すべきものと決定した。(本間 利博)



陳情が出された流雪溝の状況を視察(横手地域 上内町地内)

指定管理料の倍増に疑問

山内地場産品直売施設「山菜恵ちゃん」指定管理者の指定は否決

産業建設常任委員会

菅原正志 本間利博 奥山豊和 播磨博一
鈴木勝雄 菅原亀代嗣 佐藤誠洋 佐藤忠久



横手市議会ホームページ産業建設常任委員会
のページをご覧ください

◆市営住宅管理条例等の一部を改正

採決では、賛成少数により否決すべきものと決定した。

【問】 指定管理者を非公募にした理由は。

【答】 鶴ヶ池荘と一体的な運営が望ましいと考え、非公募とした。民間企業としてのネットワークもあり販路拡大も期待している。

◆平成31年度以降のまちづくりに係る交付金は、計画策定が原則とされているため計画が必要になった。

◆山内地場産品直売施設「山菜恵ちゃん」の指定管理者の指定

【問】 指定管理先が鶴ヶ池荘の譲渡先の会社となっても、直売所の運営体制はこれまでと変わらないのか。

【答】 指定管理者が変わっても、これまでどおり運営していきたい。

【問】 指定管理料がこれまでの52万4千円から112万1千円に倍増となっているのはなぜか。

【答】 これまで、直売所の経理全般やイベントの企画等の事務は山内観光振興公社が担っていた。新たに必要販売員以外の人件費相当分を増額した。

◆市営住宅管理条例等の一部を改正

採決では、賛成少数により否決すべきものと決定した。

まずは、市の全体計画を示すべき!!

十文字地域多目的施設整備について 議論が白熱 当初予算を否決

総務文教常任委員会

菅原 恵 悦 加藤 勝 義 大日向 香 輝 高 橋 聖 悟
塩田 勉 佐々木 喜一 遠 藤 忠 裕 土 田 百 合 子

横手市議会ホームページ総務文教常任委員会のページをご覧ください



◆平成29年度一般会計補正予算
問 公文書館整備に伴い、旧境町小学校体育館はどのような目的で使用するのか。

答 横手地域内の閉校した学校などの施設に分散して保管されている文書を、旧境町小学校体育館に集約し、公文書館に移管するまでの間保管する「中間書庫」として使用する予定である。

◆平成30年度一般会計予算
問 十文字庁舎の改修計画が変更された経緯は。

答 これまでは、庁舎機能単独での建設方針であったが、文化センターと幸福会館の老朽化の現状を踏まえ、行政機能に加え生涯学習機能と健診機能を複合化した多目的施設を建設することにした。

問 なぜ複合化が必要という判断になったのか。

答 平成29年度の当初予算では、庁舎単独という説明で調査費の予算を認めていただいたが、文化センターや幸福会館の老朽化、財産経営推進計画（FM計画）の観点及び議会の公共施設の在り方に関する調査特別

委員会からの複合化を検討すべきとの調査結果等から、複合施設を選択する判断に至った。修正があれば、新年度の当初予算で示すべきとの総務文教常任委員会協議会の意見を踏まえ、今回提案した。

問 十文字第一小学校の跡地を含めて、全体計画をどのように考えているのか。

答 市の全体的なアウトラインは今年度の秋頃までに示す。順序が逆という指摘はあるが、全体計画が後になつたから庁舎が建設できないということではない。十文字の庁舎機能、複合化する機能はあの場所に必要だという部分は変わらない。

問 就学前教育と小学校との連携を図るために、どのような対策を考えているのか。

答 就学前からの連続した教育環境を構築するため、今年度は就学前施設と小学校の職員が連携した組織を立ち上げた。また、教育保育アドバイザーという専門職員2名を配置して、就学前施設と小学校を結ぶ活動のほか、保護者向けの家庭支援も行っていく。

委員会が現状を問いた 市営温泉6施設無償譲渡・貸付け議案

委員会審査では、「譲渡候補者の新法人の住所登記や資本金の額」についての質疑に対し、「譲渡対象施設の住所であっても会社法では問題ない。新法人の資本金は少額だが、親会社の財務体力や事業計画等で判断した」との答弁がありました。

また、「雄川荘とえがの丘の空調設備の不具合」については、「3月31日までは市が施設を運営するため行う必要のある補修だと認識している」との答弁がありました。

問題は山積、市民の理解を!! 本会議で議員2人が反対討論

立身万千子議員は「鶴ヶ池荘」「さわらび」「ゆーらく」「雄川荘」「えがの丘」の議案について、「これまでの当局の対応は市民・議会は無視され、事業優先、事業者ありきでなかったかという疑念だけが残る。一度立ち止まり冷静に市民の理解を得ることが必要だ」との討論をそれぞれ行いました。

市長の責任の取り方に多数が反対 市長の給与を減額する条例改正

議案の提案に先立ち、市長は、市営温泉6施設の譲渡に至る経緯と第三セクターの現況報告に絡め、「これまで市営温泉施設を経営してきた第三セクターの清算に対し財政支援などを行うため、今後、補助金の交付と債権放棄を行う意向だ。さらなる公費の投入をお願いせざるを得ないことは、市の最高責任者である私が道義的責任を負うことから、自身の給与の減額議案を提出した」と説明がありました。

委員会審査では、「減額理由の道義的責任とは何か」との質疑に対し、「第三セクターの清算に対し財政支援を行うこと、清算により株主の方々に出資金の面でご迷惑をかけること、第三セクターが債務超過による清算が予測される中、有効な対策が取れなかったことの3点に責任をとるものだ」と答弁がありました。

本会議の採決では、賛成8、反対15（欠席1、議長除く）で否決されました。

(播磨 博一)

1月臨時議会の賛否一覧をご覧ください。

阿部正夫議員逝去



去る1月19日、阿部正夫議員（大森町・66歳）が逝去されました。

故阿部正夫議員は、新横手市となった平成17年10月から12年3カ月の長きにわたり議員として市政の発展にご尽力されました。

任期中は厚生常任委員会に所属し、委員長、副委員長を務められた他、決算特別委員長や議会選出監査委員などの要職を果たされ、市民福祉の向上と市民目線でのまちづくりに多大な貢献をされました。

ここに故人のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。



まんがの聖地を目指しリニューアル中の「増田まんが美術館」を視察

◆横手地域づくり協議会の設置に関する条例を廃止する条例
問 条例の廃止に伴い、特に横手地域では地区交流センター化が困難になる恐れはないか。
答 横手地区の地区交流センター化については、地区会議で説明を続けている。横手地区には施設を持たない地区会議が存在するが、当面公共施設や空きスペースを使いながら地区交流センターに向けた議論をしていく。地区会議合同の会議の他、各地区会議の方々が自主的に勉強会などを開催しており、市としても合意形成の支援を行う。

(土田 百合子)

1月臨時議会のあらまし



1月臨時議会の録画映像は、横手市議会ホームページ→市議会動画チャンネル→平成30年1月臨時会からご覧いただけます。

市営温泉6施設無償譲渡・土地の無償貸付け

上畑温泉さわらび・ゆーらく・鶴ヶ池荘・雄川荘・えがの丘・大森健康温泉



市長の給与を減額する条例改正案





議会の主な動き

1月

15日(月)

県南地域市議会議員研修会



議会が変われば自治体が変わる

横手市、湯沢市、大山市、仙北市の市議会議員が参加し研修会を開催。地方分権時代の議会運営の在り方について学びました。

市民の皆さんとの架け橋になれる議会だよりを目指して

雫石町議会では、編集の取り組みについて学び、埼玉県鴻巣市にある会議録センターでは、紙面クリニックをしていただいた他、編集技法などを学びました。



30日(火)～31日(水)

広報広聴委員会 広報分科会行政視察

6日(火)～7日(水)

広報広聴委員会 広聴分科会行政視察



住む人の声を直接聴き、市政に生かすには

愛知県岩倉市議会では議会報告会などの取り組みを、岐阜県可児市議会では地域課題懇談会などについて学びました。

yokote 市民の声



子育てサークルと議会の懇談会から

学童保育は、子どもたちにとって放課後の大切な時間。人数に合わせて広さを確保するだけではさまざまな不便が生じている。学校との連携も大切。障がいを抱える子どもの受け入れなど、民間を含め選択肢が増えることによって、もっと主体的な子育てができるのでは。指導員が不足していることで、子どもたちが外で自由に遊べないというのは良い環境ではない。

空き家等を活用し、歩いていけるとところに放課後児童クラブがあって、高齢者と子どもが関わり地域で見守っていく環境が各地区にできればいいと思う。

特に就学前の横手市の子育て支援は充実しているが、小1ギャップを感じる。保育園から小学校上がった瞬間敷居が高くなり、保育の現場が見えにくくなっている。

身近な場所のプールやスキー場が使えなくなっていることで、体を動かす場所がなくなってしまった。雪遊び、そり遊びができるだけで十分。小学校のスキー授業でも不便を感じている。子育てしやすい環境として、横手スキー場を何とかしてもらえないか。

FM計画によって、本来子どもたちの遊び場だった地域の施設が、老朽化を理由に廃止されようとしている。子どもを育てる本質は忘れないでほしい。行政だけでなく、企業やNPOなどを結び付ける役割を議員の皆さんに期待したい。

子育てをするようになって、横手の素晴らしさに気が付いた。中学生や高校生にもそれを伝えることによって、進学や就職で離れても、子育てのために戻ってきたいと思える環境にするべきだ。子どもが成人するまで教育と子育てを縦割りにせず、お母さんや子どもの生涯に対して1対1のサポートが必要だと思う。

編集後記

春は出会いと別れの季節です。

卒業、入学、就職、退職、転職、転勤、転校などさまざまな生活環境の変化があります。それぞれ期待や希望、目標、歓喜、不安などが伴いますが、そこには必ず新たな出会いがあります。多くの方々との出会いが、その人の人生を大きく変えるターニングポイントになる時があります。これからどんな出会いが待っているのかワクワクする昨今です。雪解けとともに鮮やかな黄金色の花を咲かせ、春の到来を知らせてくれる福寿草と出会うと、なぜか心が踊るのは雪国で暮らす私たちの特権でしょうか。

(加藤 勝義)

◇広報広聴委員会広報分科会◇

分科会長	奥山豊
副分科会長	山形健二
委員	加藤勝義
	播磨博一
	高橋聖悟
	土田百合子